

令和5年度一般社団法人日本らんちう協会主催
第66回全国らんちう品評大会開催の大綱

1. 行事等の名称

令和5年度一般社団法人日本らんちう協会主催 第66回全国らんちう品評大会

2. 主催団体名

一般社団法人 日本らんちう協会（開催地当番 中部本部）

事務所所在地

愛知県豊橋市東幸字長山82

一般社団法人 日本らんちう協会 理事長 宮本政和

3. 行事の趣旨

らんちうの種族保存、質的向上を図り飼育の研究、観識の養成と日本伝統の金魚文化に貢献するとともに動物愛護精神の普及啓発をはかる為。

4. 行事の具体的な理由

寛延元年（1747年）頃金魚として7種類位中国より渡来し古い文献、版画等で紹介されていますが、現在の『らんちう』の姿で代表されるものは昭和初期に東京の生産者や愛好者の限り無い美の追求の末、淘汰を重ねた結果現在の原型が出来、爾来関係諸機関のご指導、生産者、愛好家等の手で種族保存されて参り、特に東京の生産者の方々は東京大空襲の際に、上野の山に小さな水貯めを掘り、家財道具も出さず種魚の保存に努められたと云う逸話も残っております。

そのうち生産業者が核になり愛好者が購入した物を持ち寄り、品定めから品評会的なものに発展し徒弟的なものも生まれ、各支部結成につながり、全国で2,000名を数える大所帯になり、当協会も充実し『らんちう』愛好家の底辺も広がりました。

現在、水産試験場等のご指導が頂けなくなり、水質の悪化、病原菌の種類増加に加え、たたき池で飼育するため、土地の高騰で、『らんちう』の飼育が水槽にと飼育方法が変わり難しさを増す状態になっています。折角増えた会員の方々を金魚文化継承の為にも、充実し始めた当協会を益々強固な物にする為にも、全国各地より優秀銘魚を一堂に集め、潜在的な愛好者の眼に触れ『らんちう』の真髓泳ぐ宝石の魅力を十分味わって頂き、一般の方や会員の方には、より多く飼育技術の情報を得る交流の場として理想の魚創りといった永遠のテーマに挑戦する実践家を養成し、連帯意識の高まりから生じる活力をもって、地域における住民の福祉の増進を図ることを基本とし、全国における伝統継承金魚文化を、自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うことを目的にしています。

5. 行事等の開催場所

イ、開催期日 令和5年11月3日（金）

開催場所 愛知県豊橋市大岩町大字1番238

豊橋総合動植物公園

6. 後援名義使用の種類

文化庁・愛知県・（後援名義申請）

7. 主たる利用者

国内外の『らんちう』生産者、らんちう協会会員、流通関係者等

一般見学可（無料）